



新ひだか町立病院コラム Vol. 30

出張出前講座

12月4日(月) 三石地区の青葉保育園において小児科 信田医師が「子どもの発達について」と題した出前講座を実施しました。

信田医師は『困り感のある子どもの対応』というテーマで講話を行い、保育士との情報交換をはじめ、小児医療活動の推進を図りました。

- ・子どもの特性を知り『子どもの苦手』への対応方法を検討する。
- ・困り感には注視して、環境を整えることが大事。
- ・困り感は「特性だけでなく身体の病気が隠されている」可能性もある。

「医学的視点も交えた広い視点での捉え方」や「普段の子どもや保護者との関わりに活かしていきたい」と嬉しい感想もいただきました。

今後も、小児医療活動の一環として、様々な場所で悩みや困りごとに関する意見交換や小児医療等に関する勉強会を行っていきます。

ご希望がある方は是非、ご連絡下さい。

★17年間続けている Xmas 行事★

町立静内病院ではクリスマスが近づくころ、ご自宅でクリスマスを過ごせない患者さまへ「音が鳴るメッセージカード」をスタッフが手作りし、サンタさんが手渡しています。嬉しそうに受け取ってくれる患者さまの笑顔は私たちの励みに繋がっています😊



院長のつぶやき

院長の小松です。

信田医師は今年度の5月より、当院小児科の常勤医として診療を行っています。当院として病院内だけではなく、院外における小児医療活動の一環として、地域に出向き、子育て中の保護者の方々や保育所職員の方々に対し、小児医療に関する勉強会と意見交換会を行いました。今回のテーマは「困り感のある子どもの対応」ということで、子育てに関する悩みや困りごとに関する相談も受けていました。今回のような活動を徐々に拡げて、継続していきたいと思っておりますので、興味がある施設の方はお声をかけていただければと思います。

今年も恒例の院長サンタによる入院患者さまへクリスマスプレゼント贈呈を12月25日に行いました。今年は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが相変わらず感染の終息が見えていません。また例年ですと、年末年始の入院患者数は少なくなるのですが、今年は病院で年を超す患者様が多くいて、面会も自由にできず、ふさがちな患者さんもありました。そのような患者さまでもカードを本当にうれしそうに受け取ってくれると、少しほっとします。

今年も早々に新型コロナウイルス感染症の波が来ると言われていますが、私たち医療スタッフは笑顔を忘れず、患者さまに元気を与えられるような存在であり続けたいと思います。

作成:新ひだか町立病院

❀ 町立静内病院 0146-42-0181(代表)

新ひだか町静内緑町4丁目5番1号

❀ 三石国保病院 0146-33-2231(代表)

新ひだか町三石本町214番地